

(短縮版) 【点検者あり】

区 分	号 令	要 領
1、待機		<p>① 総指揮者は、分隊長および隊員は、予め服装を整えておく。</p> <p>② ポンプは先端を揃え各器材と共に配置しておく。</p> <p>③ 総指揮者は、部隊を見通せる車前の適当な指揮位置につく。</p> <p>④ 各隊員は、待機線半歩後方で②がポンプ中心なる様に一列横隊の隊形で、②を基準に自主整頓し正面を向き整列休めの姿勢をとる。</p> <p>⑤ 分隊長は、待機線半歩後方で①の右側 1.5mの位置にて整列休めの姿勢をとる。</p>
2、出場準備	<p>((総指揮者の号令)) 『出場準備』</p> <p>(分隊長の号令) 「待機線に一つけ」</p>	<p>① 総指揮者は、各隊が見通せる指揮位置にて、各隊が待機線の半歩後ろ後方で整列休めの姿勢をとるのを確認したら、『出場準備』と号令する。</p> <p>② 分隊長は、総指揮者の『出場準備』の号令で基本の姿勢をとり、「待機線に一つけ」と号令し、速足行進の要領で待機線につく。 次いで頭を左に向け、各隊員の整頓状況を監視し、①の「よし」で直り、再び整列休めの姿勢をとる。その後、上体を左方向に捻り、自らの踵（かかと）位置を注視し待機線に対して整列する要領が良いか確認し是正の必要があった場合には是正を行い、各隊員の整頓状況も確認し整頓終了を確認した後に、分隊長の小声での「よし」で直り、再び整列休めの姿勢をとる。</p> <p>③ 各隊員は、分隊長の『待機線に一つけ』の号令で、基本の姿勢をとり、速足行進の要領で待機線につく。次いで①を除く隊員は右手を腰にあて肘を側方に張り、頭は②は前方、③は右に向け自主整頓し、①の小声での「よし」の合図で基本の姿勢をとった後、一斉に整列休めの姿勢をとる。 その後、上体を左方向に捻り、自らの踵（かかと）の位置を注視し待機線に対して整列する要領が良いか確認し、是正の必要があった場合には是正を行い、分隊長の「よし」で直り、再び整列休めの姿勢をとる。</p>
区 分	号 令	要 領

令和元年度 魚沼市消防団演習 『2 台以上同時に行う消防ポンプ操法要領』

(短縮版) 【点検者あり】

<p>3、開始申告 (第1回目のみ)</p>	<p>((総指揮者の申告) 『只今から小型ポンプ操法の点検願います。』</p>	<p>① 点検者は、各分隊員が整列休めの姿勢をとったら臨場するものとする。 ② 総指揮者は、各分隊員が整列休めの姿勢をとったら、回れ右をして点検者に正対し、『只今から小型ポンプ操法の点検願います。』と申告する。</p>
<p>3、操法開始</p>	<p>((総指揮者の号令) 『操法開始』</p>	<p>① 総指揮者は、開始申告後、回れ右をして指揮位置に戻り、各分隊に『操法開始』と号令する。</p>
<p>4、集合</p>	<p>(分隊長の号令) 「集まれ」</p>	<p>① 各分隊長は、総指揮者の『操法開始』の号令により基本の姿勢をとり、進行方向に向きを変え、かけ足行進の要領で発進し、集合指揮位置(集合線から前方5mでポンプ中心線上)で左向け止まれの要領で停止し、「集まれ」と号令し各隊員を集合させる。 ② 分隊長の「集まれ」の号令で基本の姿勢をとり、かけ足行進の要領で発進し、集合線上に②がポンプの中央に正対し、一列横隊の隊形で②を基準に自主整頓を行い、(整頓要領は、各隊員ともに右手を腰にあてて、ひじを側方に張り(①は除く)、頭を②は前方、①は左、③は右に向けて整頓する)集合する。</p>
<p>5、点呼</p>	<p>(分隊長の号令) 「番号」</p>	<p>① 分隊長は、各隊員が集合線に集合したならば「番号」と号令する。 ② 各隊員は、分隊長の「番号」の号令で①から順次各自の番号を呼称する。</p>
<p>6、開始報告</p>	<p>(分隊長の報告) 「第〇分団只今から小型ポンプ操法を開始します」  ((総指揮者の応答) 『よし』</p>	<p>① 分隊長は、集合指揮位置から回れ右を行い、かけ足行進の要領で発進し、概ね5m前方の位置で停止し、総指揮者の後方の係員の開始報告の合図を基本の姿勢にて待つ。 ② 合図係員は、各分隊長が基本の姿勢になったのを確認して『白旗を真上から正面水平』に振る。 ③ 各分隊長は、白旗の合図を確認したら総指揮者に挙手注目の敬礼を行い、それぞれに「第〇分団只今から小型ポンプ操法を開始します」と総指揮者に向かって報告し、総指揮者が『よし』と答えた後、再び挙手注目の敬礼を行い、総指揮者が手を下ろした後、手を下ろし、回れ右をしてかけ足行進の要領で発進し、集合指揮位置で各隊員に相対して停止する。 ④ 各隊員は、分隊長の報告中は、基本の姿勢で待つ。</p>
<p>区 分</p>	<p>号 令</p>	<p>要 領</p>

(短縮版) 【点検者あり】

7、想定付与	(分隊長の号令) 「火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方防火水槽、手びろめによる二重巻きホース1線延長」	<p>① 分隊長は、「火点は前方の標的、水利はポンプ右側後方防火水槽、手びろめによる二重巻きホース1線延長」と号令する。</p> <p>② 各隊員は、基本の姿勢で分隊長の想定を受ける。</p>
8、定位	(分隊長の号令) 「定位につけ」	<p>① 分隊長は、想定を与えた後、「定位につけ」と号令し各隊員の行動を監視する。</p> <p>② ①は、半ば右向けをし、かけ足行進の要領で発進し、筒先の概ね中央に正対するよう左向け止まれの要領で停止する。</p> <p>③ ②は、度の深い左向けをし、かけ足行進の要領で発進し、吸管の概ね中央左側の位置で火点に向かって停止する。</p> <p>④ ③は、かけ足行進の要領でポンプ左側に沿って前進し、ポンプ前方中央部の位置で左向け止まれの要領により火点に向かって停止する。</p>
9、操作始め	(分隊長の号令) 「操作始め」	<p>① 分隊長は、各隊員が定位についたならば、直ちに「操作始め」と号令する。</p> <p>② 各隊員は、分隊長の「操作始め」の号令から【消防ポンプ実施要領】に準じて第1線延長を行う事とする。よって本要領(案)では省略する。</p>
10、放水中止	(分隊長の号令) 「放水止め」	<p>① 合図係員は、各部隊が見通せる位置に立ち、第1線延長後に各隊の②が定位についたのを見届けてから『赤旗を正面水平から真下に振り放水止めの合図を出す。』</p> <p>② 各分隊長は、赤旗での合図を確認したならば、火点監視に姿勢から①の方向に向きを変え、姿勢を正して「放水止め」と号令する。</p> <p>③ 各分隊長及び各隊員は、分隊長の「放水止め」の号令から【消防ポンプ操法実施要領】の『放水中止実施項目』に準じて行うこととし、本要領(案)では省略する。</p>
11、排水止め	((総指揮者の号令) 『排水止め』	<p>① 総指揮者は、各部隊の①が、下方に向け排水姿勢をとったのを確認したら『排水止め』と号令する。</p> <p>② 各部隊の①は、総指揮者の『排水止め』の号令を受け【消防ポンプ操法実施要領】に準じて放水中止実施項目を行うこととし、本要領(案)では省略する。</p>
区 分	号 令	要 領

令和元年度 魚沼市消防団演習 『2 台以上同時に行う消防ポンプ操法要領』

(短縮版) 【点検者あり】

12、収納	((総指揮者の号令)) 「収納」	① 総指揮者は、各部隊の隊員が姿勢を正したのを確認後、『収納』と号令する。 ② 総指揮者の『収納』の号令により、各分隊長は、①の方向に向きを変え「おさめ」と号令する。 ③ 各分隊長及び各隊員は、分隊長の「おさめ」の号令から操作を終了し、各分隊長が隊員からの点検報告を受けたところまでは【消防ポンプ操法実施要領】に準じて行うこととし、本要領(案)では省略する。
13、操法終了報告	(各分隊長の報告) 「第〇分団小型ポンプ操法を終了しました。」  ((総指揮者の応答)) 『よし』	① 各分隊長は、集合指揮位置から回れ右を行い、かけ足行進の要領で発進し、前方へ概ね 5m 進み停止し、総指揮者後方の合図係員の旗の合図によりそれぞれが総指揮者に向かい挙手注目の敬礼を行い「第〇分団小型ポンプ操法を終了しました。」と報告し、挙手注目の敬礼を行う。 ② 総指揮者は、各分隊長の報告の挙手注目の敬礼を確認したら、『よし』と応答する。 ③ 総指揮者が『よし』と答えた後、再び挙手注目の敬礼を行い、総指揮者が手を下ろした後、手をおろし、回れ右をして、かけ足行進の要領で発進し集合指揮位置で各隊員に相対して停止する。 ④ 各隊員は、分隊長の終了報告中は、基本の姿勢で待つ。
14、解散	(分隊長の号令) 「わかれ」	① 分隊長は、各隊員に対し「わかれ」と号令し、各隊員に答礼し解散させる。 ② 分隊長の「わかれ」の号令により、一斉に分隊長に相対し挙手注目の敬礼を行い解散する。
15、終了報告 (第3回目のみ)	((総指揮者の報告)) 『小型ポンプ操法を終了しました。』	① 点検者は、各分隊の終了報告が始まったら所定の位置に臨場する。 ② 総指揮者は、各分隊の解散を見届けてから、その場で回れ右をして、かけ足にて点検者の前方 5m の正面に至り、正対して『小型ポンプ操法終了しました。』と報告する。